



財団行事の詳細はホームページ等でお知らせします。

遺物展示会「河村新城跡」

日時：2020(令和2)年11月10日(火)～11月22日(日) 午前9:00～17:15
 会場：山北町立生涯学習センター2階常設展示スペース
 申込：不要 入場無料
 アクセス：JR御殿場線「山北駅」南口から徒歩4分
 共催：山北町教育委員会

遺跡・遺物が語る！かながわ・秦野の歴史 2020

内容：2019年度に当財団が秦野市を含む県内の調査で出土した遺物や写真を展示。
 日時：2020(令和2)年11月1日(日)～12月27日(日) 9:30～17:00
 会場：はだの歴史博物館1階第1企画展示室
 申込：不要 入場無料
 アクセス：小田急線「洪沢駅」北口から徒歩20分、神奈中バス「古墳公園前」下車徒歩2分・「桜土手」下車10分
 共催：秦野市教育委員会

令和2(2020)年度公開セミナー

内容：旧石器時代の遺跡立地－相模野台地を中心に－
 日時：2020(令和2)年12月13日(日) 10:25～14:50
 会場：寒川町民センター大型ホール
 申込：①往復ハガキ ②財団ホームページ ③財団普及メール：fukyu@kaf.or.jp (※切必着 11月12日(木))
 定員150名 (応募者多数の場合は抽選)
 アクセス：相模線「寒川駅」北口から徒歩10分
 後援：寒川町教育委員会

三都県連携事業(公開セミナー)

内容：弥生時代～古墳時代にかけての方形周溝墓について。各都県での調査事例を紹介、検討します。
 日時：2021(令和3)年1月17日(日) 10:20～16:20(9:45受付開始)
 会場：江戸東京博物館 大ホール
 申込：事前申込制 (定員340名：応募者多数の場合は抽選)
 アクセス：JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分
 主催：(公財)東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター
 共催：(公財)かながわ考古学財団・(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
 ※詳細な情報は当財団HPを参照下さい

野庭出土品整理室 作業見学会

内容：出土品整理現場の公開と出土遺物の展示により、発掘作業後の報告書作成過程を紹介します。
 ミニ講座「出土品整理作業の方法」を行います。
 日時：2021(令和3)年1月23日(土) 9:30～10:30、11:00～12:00、13:30～14:30 各回20名(事前申込制)
 会場：かながわ考古学財団野庭出土品整理室(文化遺産課収蔵センター・旧県立野庭高等学校内)
 申込：詳しくは当財団HPをご覧ください。
 アクセス：上大岡駅下車、横浜市営バス・上永谷駅下車、横浜市営バス すすかけ通停留所下車徒歩2分

当財団以外の行事

※行事に関するお問い合わせは、主催者をお願いします。

ミュージアムさくら塾

内容：「稲荷木遺跡にみる縄文時代中・後期集落」
 日時：2020(令和2)年12月5日(土)
 会場：はだの歴史博物館1階第1企画展示室(講演会室) 秦野市堀山下380-3 アクセス：同上
 申込：11月1日以降、電話(0463-87-5542)に問合せいただくか、秦野市文化財ホームページの催し物情報をご確認ください。
 主催：秦野市教育委員会



お問い合わせ

(公財)かながわ考古学財団
 〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1
 E-mail: fukyu@kaf.or.jp
 TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162

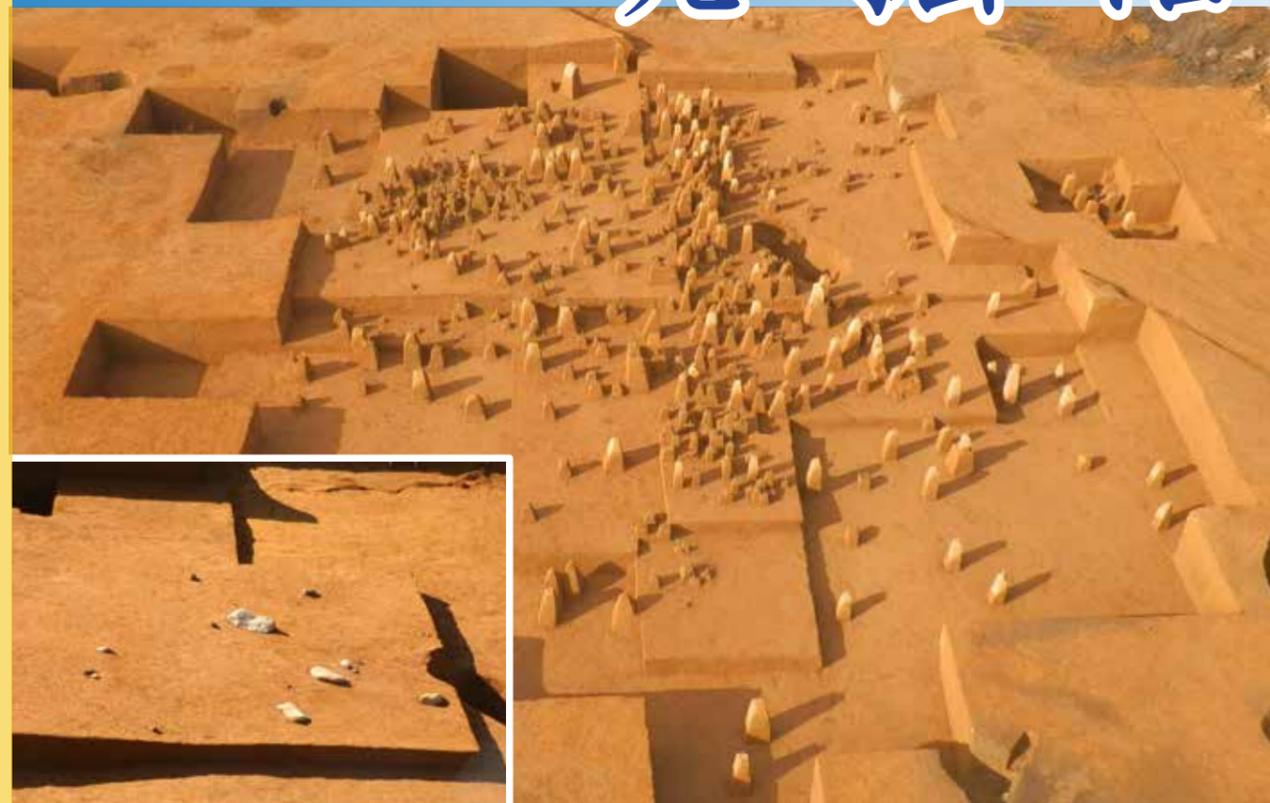


発掘帖バックナンバーはホームページからダウンロードできます。



考古学財団発掘帖
 No.34 2020(令和2)年第2号
 令和2年10月30日発行

編集・発行：(公財)かながわ考古学財団
 〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1
 TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162
 ホームページ: <https://www.kaf.or.jp>
 Facebook: <https://www.facebook.com/kanagawakougakuzaidan/>



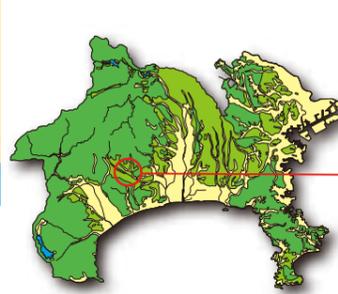
上粕屋・石倉中遺跡
 旧石器時代終末期の石器群

配石遺構



上粕屋・石倉中遺跡出土の細石器 ※神奈川県教育委員会所蔵

上粕屋・石倉中遺跡は鈴川が形成した上粕屋扇状地の要の位置にあり、鈴川に臨んだ崖上に所在します。標高は86m前後で、遺跡全体が東南方向に向かってゆるやかに傾斜しています。調査地点のBB0層から調査時点で約3,500点もの黒曜石製の細石刃、細石刃を剥ぎ取った石核(細石刃核)ブランク(細石刃を剥ぎ取る前の状態)、黒曜石の剥片、凝灰岩製の礫器などが発見され、神奈川県内における最大規模の細石刃の遺跡として注目されています。特に大ぶりの黒曜石の剥片が多く、黒曜石の原石からブランクや細石刃核を製作した場所であり、周辺にあった同時代の遺跡の中でも「拠点的な」機能を果たした遺跡であったことが想定されます。遺跡内には数十kgの大きな礫が運び込まれ配石が構築されていました。こうした配石遺構も石器製作に係わるものだったのでしょう。



本号で紹介する遺跡



次ページのコラムに続きます

今回は、新東名高速道路建設や一般国道246号厚木秦野道路建設などの調査により急増する伊勢原市内の旧石器時代遺跡を特集します。

⇒伊勢原市域の旧石器特集へ

※調査の内容は発掘時点の成果であり、調査の進展及び出土品整理作業において、名称や評価を変更する場合があります。